

「CERO年齢別レーティング制度」新制度移行後の実態調査結果について

社団法人コンピュータエンターテインメント協会(略称:CESA、会長:和田洋一、事務局:東京都港区西新橋、電話:03-3591-9151)では、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構(略称:CERO)のレーティング制度見直しを受け、去る5月31日より新レーティング制度に伴う運用を実施しております。このたびの新制度移行に伴い、当協会及び東京都協議会ご参加の販売店様のご協力により全国の販売店681店舗を対象に制度変更後の店頭実態調査を実施し、以下のような結果となりましたのでご報告申し上げます。

◎年齢確認の実施状況は95.1%。

既にご報告の通り、新レーティング制度移行に伴い旧「18歳以上対象」作品に対する再審査を実施し、再審査結果に基づいて各店舗にて「D」もしくは「Z」のシール貼付をお願いしてまいりました。「Z区分」商品の販売にあたり、購入者が18歳以上であることの年齢確認をした上で販売されているかどうかを調査したところ、95.1%の店舗が「年齢確認を実施している」との結果でした。

◎既発売「18歳以上対象」作品への再審査シール貼付状況、「Z区分」は90.9%、「D区分」は71.8%。

今回の調査の結果、「完全貼付」もしくは「ほぼ貼付」されていた店舗の割合を見ますと、取り扱い店舗のうち「Z区分」では90.9%、「D区分」では71.8%が貼付済みという結果となりました。「Z区分」については今回の関心の高さから貼付状況が高いものと推測されますが、「D区分」のシール貼付についても貼付率向上に努めるべく、引き続きお願いしてまいります。

◎「Z区分」商品の区分陳列率は85.3%。

店頭区分陳列状況調査の結果、「Z区分」商品の取扱をしている販売店の85.3%が当協会指定の区分陳列を実施、14.7%が調査時点で未着手という結果となりました。実施率向上に努めるべく、引き続きお願いしてまいります。

◎告知ツールの利用状況、「ダミージャケット」「ポスター」「カウンターポップ」の順に利用頻度が高い。

新制度への移行について店頭での告知が必要なことから、当協会で作成の上各販売店に掲示をお願いしてまいりましたが、3種の告知ツールについて調査した結果、店頭での利用は「ダミージャケット」(83.0%)、「ポスター」(69.4%)、「カウンターPOP」(66.9%)の順に高いことがわかりました。各店舗の状況により、全てのツールを利用するのが難しい店舗もありますが、いずれかのツールを使って頂き、非告知店舗がないよう引き続きお願いしてまいります。

上記調査とあわせ全体運用の理解度についても調査したところ、「理解している」「ほぼ理解している」との回答が91.2%に上り、概ね順調に実施されていることがわかりました。

本結果からも新制度は全国統一のルールとしての運用が定着していくものと思われませんが、当協会として更なる実施率の向上を全国の販売店様に引き続きお願いしてまいります。

皆様方に置かれましても新制度の定着に向け、なお一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上

添付資料①

社団法人コンピュータエンターテインメント協会 概 要

名 称	社団法人コンピュータエンターテインメント協会
英 文 表 記	COMPUTER ENTERTAINMENT SUPPLIER'S ASSOCIATION (略称:CESA)
所 在 地	〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-10 西新橋アネックス3階 電話:03-3591-9151 FAX :03-3591-9152
代 表 者	会長:和田洋一(株式会社スクウェア・エニックス 代表取締役社長)
主な活動指標	1. コンピュータエンターテインメント産業に関する調査・研究・普及・啓発 2. コンピュータエンターテインメント産業に関する展示会・研修会等の開催 3. コンピュータエンターテインメント産業に関する内外関係機関との協力 4. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業
会 員 数 合 計	165社(2006年6月28日現在) 内訳 正会員 90社 特別賛助会員 1社 一般賛助会員 64社 海外賛助会員 9社 個人賛助会員 1名